

食料安全保障に関するAPEC行動計画（仮訳）

行動	対応年	エコノミー
共通事項		
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 情報共有のためのプラットフォームの構築（情報プラットフォーム） <ul style="list-style-type: none"> 1 ワークショップを開催し、各エコノミーからの情報を共有するためのウェブサイトの特組を検討。活動成果、ベストプラクティス、研究結果、統計等の情報を集約するウェブサイトを整備するとともに、活動状況を管理 	2011-	日本
共通目標 1：持続可能な農業の発展		
食料供給力の拡大		
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 農業の新旧技術の移転 <ul style="list-style-type: none"> 2 農業技術に関する情報を共有するためのウェブサイトを整備 3 技術協力を促進するための効果的な農業技術移転プラットフォーム構築のためのワークショップを開催 4 農業技術開発・移転の環境を改善するための効果的な行動について議論を行う会議を開催 5 国際水田水環境ネットワーク（INWEPF）と連携しつつ、水資源利用及び農民参加型水管理に関する情報を共有するためのシンポジウムを開催 6 2015年時点の消費量を満たすため、食用作物の生産能力向上のためのワークショップを開催 ✓ 研究・技術開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> 7 途上国エコノミーの研究者に農業研究の研修を提供 8 情報プラットフォームを活用した研究成果の共有により、地球温暖化や食料安全保障に関する国際共同研究を強化 9 農業バイオテクノロジーの投資を支えるような規制制度を適用するための能力の向上を目的としたワークショップを開催 10 開発途上エコノミーにとっての食料安全保障上の課題に関する意見交換と必要な能力構築の特定のための会議を開催 ✓ APEC域外との協力の検討 <ul style="list-style-type: none"> 11 情報プラットフォームを活用して、主にアフリカ諸国の開発途上国に対する農業支援についてのベストプラクティスを共有 12 アジア、アフリカ及びラテンアメリカの途上国との技術の共有と農業資源の共同開発のための農業協力プログラムを実施 ✓ 食品ロスの軽減 <ul style="list-style-type: none"> 13 ポストハーベストの取扱いについて取組みや手段を共有するためのワークショップ、研修、共同研究プロジェクトを実施 ✓ 持続的な水産資源の利用 <ul style="list-style-type: none"> 14 食料供給や生計を保障するための持続的な水産業の目標や優先地域を示した水産業の開発援助のための構想を策定 15 回遊小魚の食用としての供給可能性に関する調査を実施 16 水産養殖業のサプライチェーンの安全性に関する研修教材を提供 17 情報プラットフォームを活用して水産資源の持続的利用に関する情報を共有 	2010-2012 2010-2011 2010 2011 2010-2012 2011-2013 2011- 2010-2011 2011-2012 2011- 2010-2014 2012-2015 2010 2010-2011 2010 2011-	中国 中国 中国 日本 タイ 日本 日本 米国 タイ 日本 韓国 チャイニーズタイペイ 豪州 ペルー 米国 日本

行動	対応年	エコミ-
<p>農業災害対応の改善</p> <p>✓ 農業分野の災害対応に関する能力強化</p> <p>18 情報プラットフォームを活用して、国際的な緊急支援制度を含め、農業分野の防災・減災対策、災害時における農業・農村に対する支援手法についてベストプラクティスを共有</p> <p>19 地滑り軽減のための技術を共有するための、ワークショップ、研修及び情報プラットフォームを実施</p> <p>✓ 越境性動植物疾病の予防と規制</p> <p>20 植物病害虫の監視及び診断に関する技術の能力構築のための研修を実施</p> <p>21 外来生物の侵入危機に対応するために、緊急時対応計画を開発し、地域の共同計画を検討するためのワークショップを開催</p> <p>22 国境を越えた動物インフルエンザの拡散に関するリスクを分析し、検査・検疫当局間の相互理解を強化</p> <p>23 輸入農産物のくん蒸消毒に関する技術的知見の強化のための、検疫当局者に対するくん蒸監査に関する研修を実施</p> <p>24 現状及び新たな植物検疫上のリスク管理手法に関する理解を向上させるための研修ワークショップを開催</p>	<p>2011-</p> <p>2011-2013</p> <p>2010-2011</p> <p>2011-2014</p> <p>2011</p> <p>2010-2012</p> <p>2010-2011</p>	<p>日本</p> <p>チャイニーズタイペイ</p> <p>豪州</p> <p>マレーシア</p> <p>中国</p> <p>豪州</p> <p>豪州</p>
<p>農村地域の振興</p> <p>✓ 地域農産品の消費の促進</p> <p>25 地域農産品の潜在力に関するワークショップを開催するとともに、食品の多様化に関する農業研究センター間のネットワークを設立</p> <p>26 地域特産の野菜の市場を拡大するためのワークショップ、交流プログラム、共同研究プロジェクト及び研修を実施</p> <p>27 地域に固有の野菜の保全と活用に関する情報交換のためのワークショップを開催</p> <p>✓ 農村地域振興に有効な手法の普及</p> <p>28 情報プラットフォームやシンポジウムの開催を通じて、農産物の加工・販売等に取り組む農村女性の起業活動、グリーン・ツーリズム、農村文化交流などのベストプラクティスを共有</p> <p>29 貧困者の活用できる農業技術の選択、農村地域の貧困者の連携、戦略的な取組に関するワークショップを開催</p>	<p>2011-2014</p> <p>2011-2014</p> <p>2011-2013</p> <p>2011-</p> <p>2010</p>	<p>インドネシア</p> <p>チャイニーズタイペイ</p> <p>タイ</p> <p>日本</p> <p>韓国</p>
<p>気候変動と天然資源管理に関する課題への対応</p> <p>✓ 気候変動に対処するための農業手法の普及</p> <p>30 農業の温室効果ガス削減への可能な貢献に関する情報を共有するためのシンポジウムを開催</p> <p>31 各エコノミーで導入されている適応策・緩和策に関する知見を共有し、他のエコノミーでの実行可能性について話し合うワークショップを開催</p> <p>32 気候変動に対する農民の適応能力を改善するための研修の提供とワークショップを開催</p> <p>33 気候変動要因に関するデータを組み込んだ食料安全保障に関する情報・地図化システムの活用により特定された、実現可能な適応策・緩和策を普及するためのワークショップを開催</p> <p>34 気候変動による影響に適応する灌漑技術・管理の情報を共有するための、ワークショップ、研修、情報プラットフォームを実施</p>	<p>2011</p> <p>2011</p> <p>2011-2013</p> <p>2011-2013</p> <p>2011-2013</p>	<p>フィリピン</p> <p>日本</p> <p>タイ</p> <p>日本</p> <p>チャイニーズタイペイ</p>

行動	対応年	エコミ-
35 気候変動に適応可能で持続的な水稻栽培システムに関する研究を推進し、情報プラットフォームを活用して情報を共有	2011-	日本
✓ 気候変動に対処するための研究の推進		
36 気候変動下で、持続的な食料生産を可能にする手法を開発するための交流プログラム、ワークショップ、研修、共同研究プロジェクトを実施	2011-2013	チェンズ タイ
37 気候変動下で、食料安全保障にとっての持続的な家畜生産を確保するための、共同研究を実施、研修・ワークショップを開催、研究計画を交換、実地調査を実施	2011-2013	タイ
✓ 食料安全保障と両立したバイオマスエネルギーの開発		
38 情報プラットフォームを活用して、持続可能なバイオマスエネルギーの生産・利活用に関するフォーラムの成果及び、東アジアで策定されたバイオマスタウンプロジェクトの知見を共有	2011-	日本
39 バイオ燃料ネットワーク年次シンポジウム及びバイオトレード/技術研修ワークショップを開催	2011	タイ
✓ 食料安全保障と両立する持続可能な森林管理の促進		
40 情報プラットフォームを活用して、アジア森林パートナーシップ（AF P）の情報を含め、森林から転用された農地における森林伐採の環境への影響と農業生産の持続可能性について情報を共有	2011-	日本
✓ バイオセーフティに関するカルタヘナ議定書の普及推進		
41 バイオセーフティに関するカルタヘナ議定書についてのワークショップを開催	2011	米国
42 情報プラットフォームを活用して、カルタヘナ議定書締約国会議に関するシンポジウムの成果を共有	2011-2012	日本
共通目標 2：投資、貿易及び市場機能の円滑化		
農業投資の促進		
✓ 農業投資の重要性の認識及びその促進		
43 A P E C 地域において責任ある農業投資（RAI）の取組を促進するための会合を開催	2011-2012	日本
食料及び農産物の貿易の円滑化		
✓ 貿易の円滑化		
44 食料貿易における電子証明書の使用状況を調査するとともに、A P E C 地域内への適用を促進するためのワークショップを開催	2011-2014	中国
45 ワークショップやケーススタディの結果に基づき、アジア太平洋地域における食料安全保障の強化に対する市場開放の効果に関する報告書を作成	2010-2012	N Z
46 農作物のバイオテクノロジーに関する規則、基準及び手引きに関する国際的枠組みの調査の実施と、貿易への障害を最小化するための問題点や想定される将来的な作業の特定のためのワークショップを実施	2011-2012	カナダ
農産物市場の信頼性の強化		
✓ 農産物市場の不確実性への対応		
47 情報プラットフォームを活用して、アセアン食料安全保障情報システム（A F S I S）の情報を含め、農産物需給、在庫・品質・備蓄等に関する情報を共有	2011-	日本
48 先進的な国のベストプラクティスに基づく統一化された情報や統計の農業ポータルを構築	2010-2011	ロシア
✓ 食料危機の際の食料供給の確保		
49 地域の食料備蓄メカニズムを検討するための研究を実施	2011-2013	チェンズ タイ

行動	対応年	エコノミー
<p>アグリビジネス環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 規制や制度上の制約の撤廃 <ul style="list-style-type: none"> 50 農業部門で進展の遅れている分野の原因及び非効率性を評価するためのパイロットプロジェクトを実施 ✓ 食品産業の発展 <ul style="list-style-type: none"> 51 食品企業の品質管理や資源・環境対策に関する対話を実施 52 情報プラットフォームを活用して、各エコノミーにおける食文化や食生活、消費者の嗜好等に関する食品産業に必要な情報を共有 ✓ フードチェーンの強化 <ul style="list-style-type: none"> 53 フードチェーンのトレーサビリティに関する現状システムについての情報共有を図るためのワークショップを開催 54 学校給食制度に関する調査を実施 55 植物防疫に対応するための地域的なアプローチを調査し、関係者とともに地域的な共同での取組を検討するためのワークショップを開催 56 食品の適切や試験用サンプリングや解析を実施するための研究所及び技術能力を向上するための取組を実施 ✓ 植物新品種の知的財産権の保護 <ul style="list-style-type: none"> 57 育成者権付与の迅速化を図るために、植物新品種の審査データを共有するためのシンポジウムを開催 	<p>2011</p> <p>2010-2011</p> <p>2011-</p> <p>2011-2012</p> <p>2010</p> <p>2010-2012</p> <p>2011</p> <p>2011</p>	<p>米国</p> <p>日本</p> <p>日本</p> <p>中国</p> <p>ロシア</p> <p>マレーシア</p> <p>米国</p> <p>日本</p>
<p>食品安全措置の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 食品安全措置の改善 <ul style="list-style-type: none"> 58 国際的に取り引きされる食品における主な化学汚染物質の特定に関し、検査官に対する技術的な研修を実施 59 サプライチェーンを強化するための食品安全計画の策定のための研修を実施し、オンライン研修で成果を共有 60 食料安全保障における食品安全の役割を理解し、食品安全ネットワークを構築するためのシンポジウムを開催 61 家畜生産の食品安全を改良するため、HACCP（ハ CCP）の手法を取り入れたブローイラー飼育場に関するワークショップを開催 62 食品輸送時の故意の不正や食品汚染を防止するための食品テロ対策パイロットプロジェクトから得られた教訓を普及するワークショップを実施 	<p>2011-2014</p> <p>2010-2011</p> <p>2011</p> <p>2011</p> <p>2010-2011</p>	<p>中国</p> <p>米国</p> <p>フィリピン</p> <p>タイ</p> <p>米国</p>